

赤道 (1983)

EQUATEUR

メディア 映画

ジャンル サスペンス エロティック ドラマ

製作国 フランス

時間 88分

初公開日 1984/09

公開情報 ゴトー・オフィス=デラ

【解説】

G・シムノンの『COUP DE LUNE』の映画化で、時代を30年代から50年代に移し、灼熱のアフリカを舞台にしたサスペンスがゲンズブール監督・脚色・台詞・音楽により頹廢的に描かれる。

フランス青年は自分の可能性を探してリーブルヴィルにやって来たが、仕事のあては外れてしまった。戸惑う彼を包み込むのは、灼熱とけだるいアフリカの空気だった。宿泊したホテルで彼は、誘われるままに美女と一夜を共にする。その夜から彼は、無愛想な老主人の妻でドイツ人の彼女の虜になった。たむろする無気力な白人たちと同様に無為な日々を過ごすうち、黒人ボーイの殺人事件が起こり、また、老主人はマラリアが悪化して死んでしまう。警察に呼ばれて老主人と彼女が婦女売買や麻薬密輸に手を染めていることを知り、何もかも嫌になってホテルを出て行こうとするが、あの夜以来冷たかった彼女が近づいて来た……。異境のアフリカ、うだるような熱気と倦怠感、そしてエロス。頹廢ここに極まれりという作品である。

【クレジット】

監督	セルジュ・ゲンズブール	Serge Gainsbourg
原作	ジョルジュ・シムノン	Georges Simenon
脚本	セルジュ・ゲンズブール	Serge Gainsbourg
撮影	ウィリー・クラン	Willy Kurant
音楽	セルジュ・ゲンズブール	Serge Gainsbourg
出演	バルバラ・スコヴァ	Barbara Sukowa
	フランシス・ユステール	Francis Huster
	ルネ・コルデホフ	Rene Kolldehoff
	フランソワ・ディレク	Francois Dyrek
	ジャン・ブイーズ	Jean Bouise
	ジュリアン・ギオマール	Julien Guiomar
	ロラン・ブランシェ	Roland Blanche